

令和 6 年度 第 1 回ラウンドテーブルミーティング

日時：令和 6 年 9 月 30 日 13 時～15 時

場所：さかい新事業創造センター（S-Cube）



議題 1 －各事業者から取組内容の紹介－

アントレプレナーシップ教育事業 株式会社 Armory 福永氏

大阪と北海道の二拠点でアントレプレナーシップ教育を提供しています。

「アントレクエスト」というプログラムはチームで会社設立の疑似体験を通じて、資金調達や予算管理などを学ぶもので、ゲーム感覚で進行し、子どもたちが自分の強みやアイデアを発見できるよう工夫されています。

札幌ではプログラム参加者の中学生が東京のスタートアップと一緒に、探求学習に VTuber を活用するというプロジェクトを実際に立ち上げるなどの展開があり、TV でも取り上げられました。

本プログラムは発表して終わりではなく、面白いアイデアは本当にプロジェクトにしていけるような機会にしたいと思って取り組んでいます。

U30 起業家育成プログラム SIP NEWRON 株式会社 西井氏

SIP は 30 歳以下の起業前の方を対象に、アイデア発想からビジネスモデル構築、プロトタイプ開発までをサポートする半年間のプログラムです。アイデアはあるが形にする方法がわからない人たちに、土業の方

や若手起業家、VC 系の方々をメンターとしてアサインし、サービスのアイデア発想からビジネスモデルの構築、プロトタイプ開発、検証までを行います。

先日の説明会兼ワークショップでは 12 名が参加しました。過去の参加者からの紹介や、「堺市」「起業」での検索結果から SIP が出てくるようで、新規参加者が増えています。

今後毎月講座が開催され、最終日の 2 月 16 日には、自分の成果を披露するデモデイピッチが行われます。午後 2 時から 5 時まで行われる予定ですので、この時間を空けておいてください。

INNOVATORS BOOTCAMP 有限責任監査法人トーマツ 小堀氏

トーマツは、監査保証業務、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザーなど多岐にわたる事業を展開しており、中小スタートアップ支援、経営人材育成、事業承継、産学連携も推進しています。

今年も 6 社を選定し、フェーズ 1 からフェーズ 3 そして最終デモデイでの成果発表というプログラムになっています。昨年の反省を踏まえ、交流会を 2 回実施し卒業生やメンターとのつながりを強化します。

このブートキャンプの目的は人と人をつなぐことです。横だけでなく縦のつながりも重視し、卒業生による基調講演や交流会を通じてネットワークを広げ、また堺市の他のプログラムとも連携していきます。

トーマツ社では対応しきれない課題も多いため、外部のメンターやパートナーと協力し、点を線に、線を輪にして支援を強化します。

インキュベーション支援 さかい新事業創造センター（S-Cube） 庄司氏

インキュベーション施設 S-Cube は平成 16 年に創業し今年で 21 年目を迎えます。これまでに約 210 社が卒業し、現在は 43 社が入居しています。この施設では、インキュベーションマネージャーが常駐し、入居企業に対してアドバイス、成長のサポートを行っています。地域の方々や支援者の皆様のおかげで、多くの企業が新しい事業に取り組み成長しています。

新たな取り組みとして、「ファクトリズム」という地域イベントに参加します。このイベントでは、施設内の企業がオープンファクトリーやオープンカンパニーとして職場体験や見学を提供します。地域の方々に施設を知っていただき、ネットワークを広げる機会になると思っています。

スタートアップ実証推進事業 プロトマーケティング株式会社 安武氏

この事業は、スタートアップが有するサービスやプロダクトを試してもらうことを目的としています。具体的には、PoC（概念実証）や PoB（ビジネス実証）を通じて、実際の環境でその有用性を確認します。今年度の実証テーマには、万博のテーマである「輝く未来社会のデザイン」を追加しており、一次・二次審査を経て、採択者を決定し、実証期間は 10 月から来年の 2 月までとなります。

今年度は 42 件の応募の中から 4 者が採択されました。

サンリットシードリングス：地域の生物多様性ネットワークの可視化をめざし、土壌の微生物の DNA 解

析を行う企業で、堺市の里山保全と親和性が高いテーマです。

フィルトラスト：高齢者の口腔状態を AI で解析し、口腔疾患の早期発見をめざすサービスを開発中で、介護施設や歯科医院での実証を予定しています。

mairutech：福祉タクシーや民間救急などの移動サービスを統括するマイルシステムを開発し、堺市での実証を行います。

UJC リベルタージ：柔術を活用した幼児教室で、子どもの体力向上や非認知能力の向上をめざします。この企業は今年のアクセラレーションプログラムの参加者であり、今回実証推進事業にステップアップしました。

これらの企業が実証事業に取り組むことで、地域社会に新しい価値を提供し、スタートアップの成長を支援します。関連企業や興味のある方はぜひご紹介ください。

Community room cha-shitsu（茶室） 株式会社 ATOMica 小原氏

弊社は昨年 10 月から Community room cha-shitsu をコワーキングスペースとして運営しています。月平均で約 600 人の利用者がおり、登録システム「knotplace」を通じて累積で約 1000 人の登録者数を見込んでいます。

コワーキングスペースとしての利用だけでなく、利用者同士の交流を促進するために、月に 3 回程度のイベントを定期的に実施しています。具体的には、ランチ交流会や学生向け講座、女性起業家向けのイベントなどを展開しています。最近では、朝にコーヒー交流会を実施し、大変好評をいただいております。

また、弊社は関西の他の拠点でも運営を行っており、ネットワークを広げています。

今回のミーティングでも、皆様のお困りごとやご質問にお答えできればと思います。

ストーリーシート作成業務 他 株式会社マミー・クリスタル 新田氏、松田氏

弊社はこの事業を受託して 3 年目になり、PR と体験の部分を担当しています。

まず、PR に関しては、堺市内のスタートアップ等を市民ライターが取材し note で発信しています。ライターは子育て中の女性などで、分かりやすい言葉で記事を書いており、Instagram でも要約を投稿し記事への集客を図っています。

次に、小学生向けの探求イベントについてです。堺市内の企業を紹介するイベントを開催し、今年は 8 月 4 日に S-Cube で実施しました。予約がすぐ埋まるほどの人気で、多くの小学生が参加し様々な体験をしてもらいました。

さらに、市民 PR サークルには、堺市内の女性たちが企業と協力し、新商品開発や PR 活動を行っています。サークルには子連れで参加できるようにし、弊社のコミュニティビジネスのノウハウを活かして運営しています。

イノベーション創出に向けた PR 業務 株式会社角川アスキー総合研究所 松原氏

角川アスキーはアスキー.jp という IT メディアの母体があり、その中の一つのコーナーとしてアスキースタートアップという独立したメディアを展開しています。このメディアでは、スタートアップや新規事業、ソリューションに関する記事を掲載しており、特にスタートアップを取り上げるためにライトニングトークのコーナーを設けています。

堺市の取り組みについては、業界関係者に向けた情報発信に力を入れており、イベントレポートや企業インタビューなど記事を展開しており、昨年のラウンドテーブルミーティングの記事も掲載しました。

3月上旬には、市の取り組みを発信しイノベーションが生まれる場所としての堺市をアピールする全国向けのイベントも予定しています。

各プログラムに取り組む企業の露出等に関して、アスキースタートアップを活用していただけたらと思います。

Sakai Next Impact Catapult 株式会社 UNERI 河合氏

弊社は今年度から堺市と連携し、「Sakai Next Impact Catapult」という社会課題型スタートアップ向けのアクセラレーションプログラムを運営しています。このプログラムは、社会的インパクトを持つスタートアップやゼブラ企業の育成、支援を行うことを目的としています。

プログラムは全 5 回の集中プログラムで構成されており、2 月に S-Cube でパネルディスカッションやデモ데이を開催します。対象は 15 歳から 35 歳までの方々と、2 人 1 組を推奨で申し込みを受け付けています。既に登記しているか、1 年以内に登記予定の方々が対象です。

プログラムを通じて、社会課題の解決に向けたスタートアップの成長を支援してまいります。

議題 2 – 意見交換、ご提案 –

(株)ATOMica 小原氏

堺市が思い描いている社会実装までの綺麗な形というのはどういう形でしょうか。

中百舌鳥イノベーション創出拠点担当課長 西浦

様々な取組が円になって互いに影響し合うことがいいのではないかと思います。例えば茶室や S-Cube で生まれたものが、実証やアクセラレーションなどの様々な取組を経て、事業の実効性を高めてきちんと社会に実装される。そういうことをできたらと思っています。



(株)Armory 福永氏

それぞれの取組の申込期限やデモデイの日程などを一覧表にしてもらえると、人に紹介もしやすくなるのでありがたい。

(株)UNERI 河合氏

この場の事業者さん同士で参加者層が被ってくところもあると思う。堺市で起業家の方々の成長ステージを描くマップなどを作成してくれると可視化されて事業間の橋渡しもスムーズにできると思う。

トーマツ 小堀氏

たくさんの事業が年数を重ねているので、これまで関わった事業者を集めて同窓会をしてはどうでしょう。繋がっているようで繋がっていない人たちもあり、交流することで何か生まれるんじゃないでしょうか。また、他の同じような事業を行っている自治体との連携・交流も面白いかなと思います。

(株)UNERI 河合氏

弊社は名古屋が本社なんですが、都内の施設で関係者が集まるミートアップを百人ぐらいの規模で開催しています。名古屋市さんと一緒に開催すると、名古屋出身のキャピタリストの方などが多く来てくださって、地元のために何かしたい、応援するよと言ってくれます。

例えば中百舌鳥とか堺という切り口でそういったことをするのはどうでしょう。都内にはまだ堺市と接点がない堺出身の起業家や VC の方が結構いらっしゃる。そういう方を集める場を開催しても面白いと思います。

中百舌鳥イノベーション創出拠点担当課長 西浦

事業単位では東京での説明会も行っていますが、ご提案のような広い視点で一度やってみたいと思います。メンターとして関わりたいという起業家や VC の方、後進育成に強い関心を持たれている方も多いと思いますので、関係性も生まれやすいと思います。



プロトマーケティング(株) 安武氏

各事業の参加企業を知るという意味で、アスキーさんのライトニングトークのコーナーみたいに、簡単なピッチとか自社事業の紹介ができるようなコーナーやイベントなどがあると参加しやすくコラボレーションが生まれやすい環境になるかもしれません。

(株)角川アスキー総合研究所 松原氏

少しフランクな場での交流はあっていいのかなと思いました。横軸でプログラム同士が OB の方も含めて一堂に会する、堺市の事業にこれまで関わった人や現在関わっている人、これから関わりたいと思っている人が飲食も込みでちょっと交流ができて、かつその場で皆さんがフランクにライトニングトークしていただくという場も今後できていけばいいのかなと思います。

(株)マミー・クリスタル 松田氏

小・中学生が今後堺市内で大きく成長して、いつか起業に興味を持った時にこういう所（S-Cube）があることを知ってもらうことは非常に重要だと思っています。また企業勤めの方が多く、自分の親が起業家であるケースは非常に少ないと思いますので、そうすると起業家に憧れる機会がすごく減ってしまい、10年後、20年後、起業家がどんどん減っていきイノベーションが起きづらい社会になるかもしれません。

起業家をめざす子どもが堺市内でどんどん出てきて欲しいということであれば、デモデイとかピッチを見る機会が必要だと思っています。私たちはご家族や子どもたちの集客を非常に得意としていますので、皆さんがやっているプログラムのデモデイやピッチを生で見る機会をつくるために人を集めることも出来ると思いますし、そうして小・中学生にちょっとでも興味を持ってもらえるように、起業家ってこういうふうに仕事してるんだなというところを見るチャンスがあったら、10年後、20年後また堺市に明るい未来が訪れるのではないかなと思います。

(株)マミー・クリスタル 新田氏

私の高校生の娘がすごく起業に興味を持っているけれども、それを学べる場所がなかなかない。実は起業に興味があって、もうちょっと誰かの話を聞きたいとか、自分がやろうとしている事業の先輩の話を聞きたいと思っている若い子たちはすごく埋もれているのではないかと思います。特に中学～高校生ぐらいはすごく将来について考え出す時期ですので、その子たちが参加できるように、もうちょっと間口を広げてあげられるようなお手伝い出来るのではないかと思います。

(株)角川アスキー総合研究所 松原氏

3月頃に弊社がPR事業の一環でイベントを実施する際に、この場の皆様にも一斉に情報発信するとか何かしらの形で参加していただきたい。一つの大きなお祭りイベントみたいな感じでワイワイ感を外にアピールすることも、堺市が盛り上がって一つになってるんだなというアピール、ブランディングの一つにもなるとしますので、ぜひ連携して盛り上げていただけたら大変嬉しいです。

中百舌鳥イノベーション創出拠点担当課長 西浦

いただいたご意見、できることから早速取り組んでいきたいと思います。
本日は貴重なお時間いただきありがとうございました。